

BSE(牛海綿状脳症)に関するアンケート結果

BSE(牛海綿状脳症)に関するアンケート調査を実施したところ、下記の結果となりました。

ご協力いただきまして、ありがとうございました。

1 アンケート調査の概要

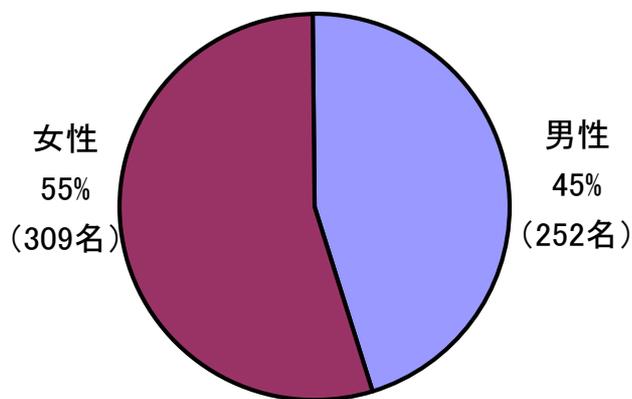
(1) 調査対象：管内の食品衛生講習会受講者(800名)

(2) 調査期間：平成25年6月～7月

(3) 回答数：564名(回収率71%)

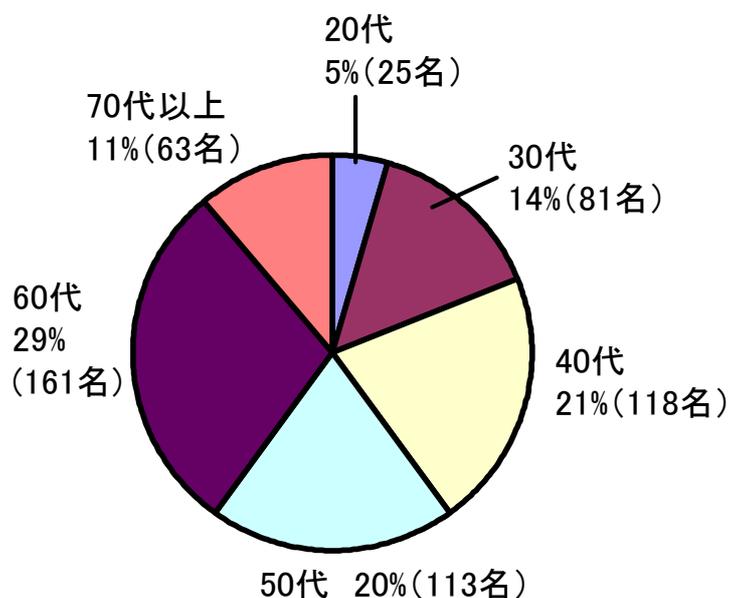
(4) 回答をいただいた方の内訳：

ア 性別



(無回答3名を除く)

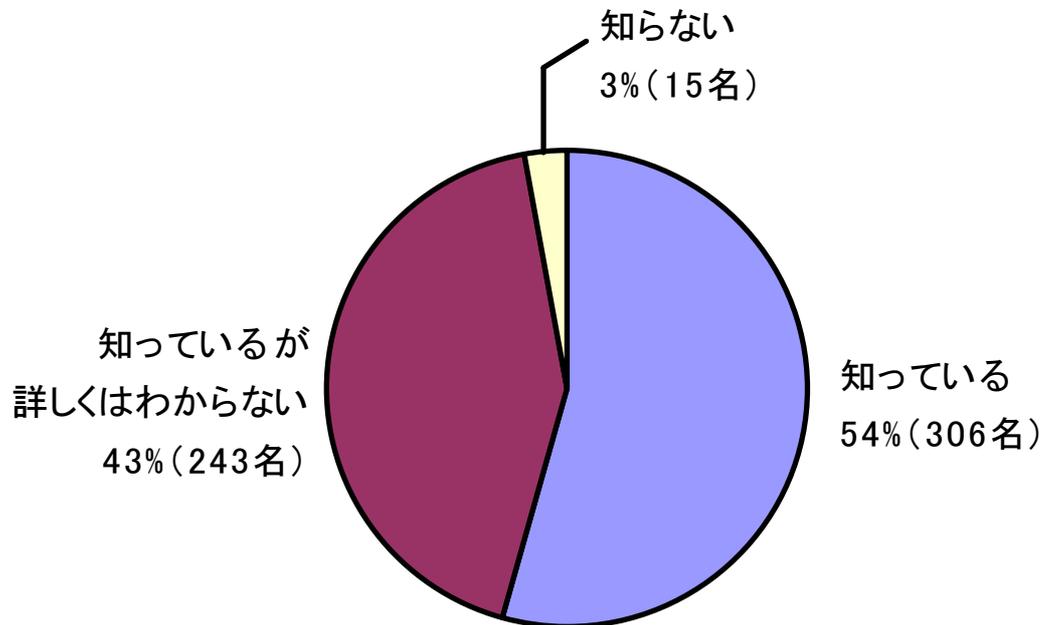
イ 年齢区分(無回答3名を除く)



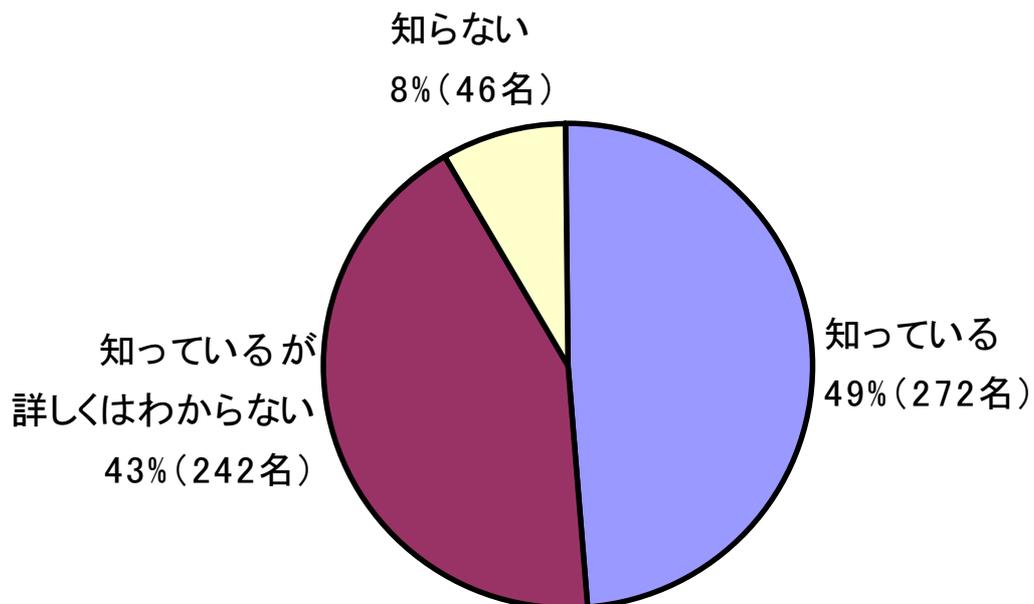
(無回答3名を除く)

2 アンケート結果

問1 BSE（牛海綿状脳症、いわゆる狂牛病）を知っていますか。

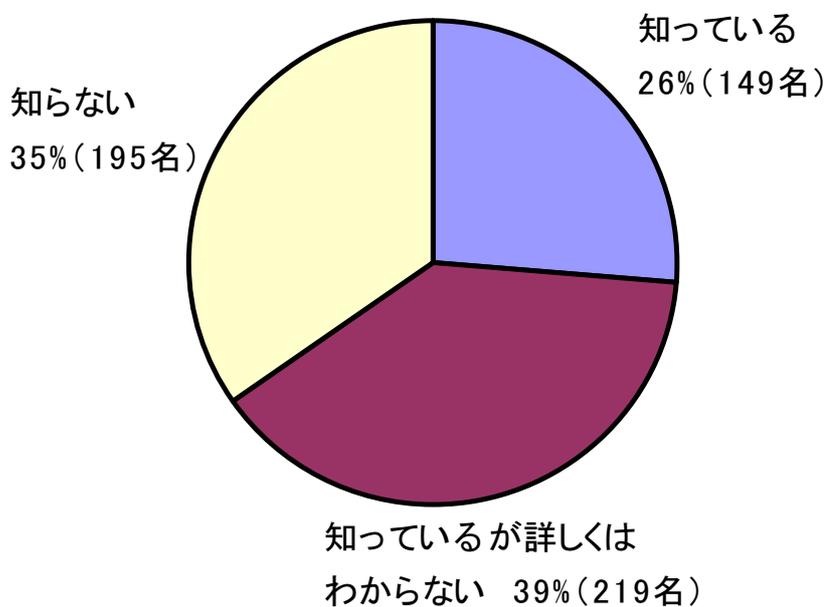


問2 日本で、BSE 検査が行われていることを知っていますか。



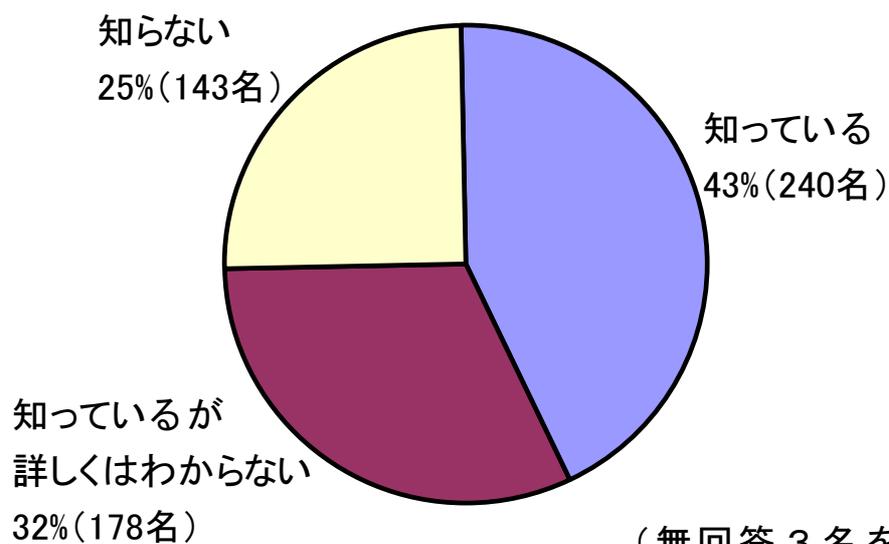
(無回答 4 名を除く)

問3 牛などをと畜・解体する時に、BSEの原因である異常プリオンがたまる小腸の一部など（特定部位（SRM））を、取り除いていることを知っていますか。



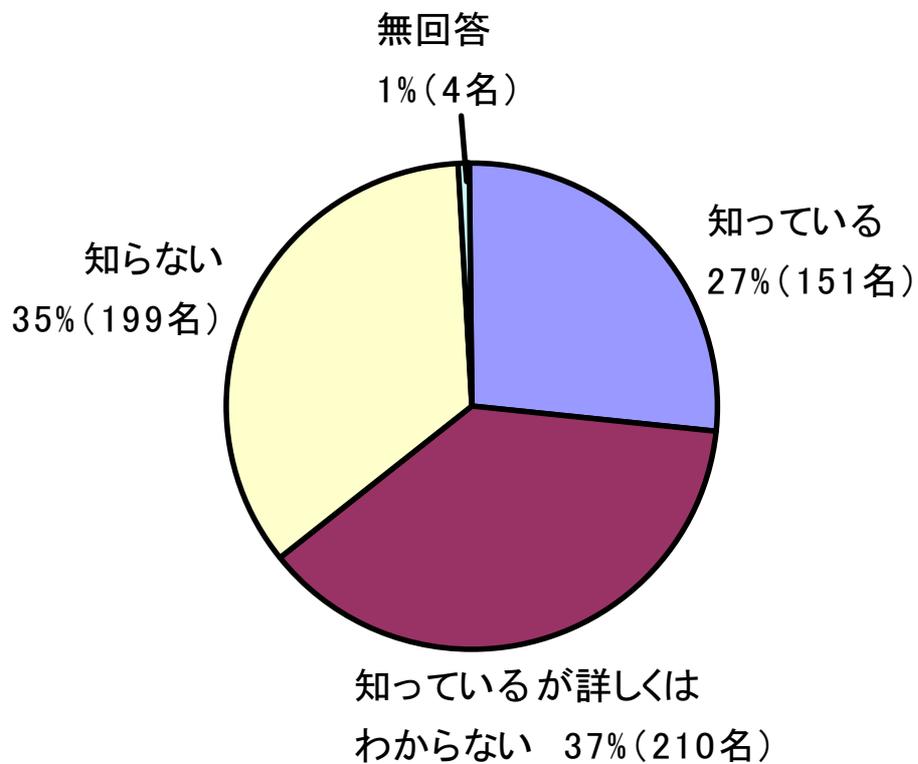
（無回答 1 名を除く）

問4 日本では、BSE 発生以降、牛などの肉骨粉を家畜の飼料にしている（飼料規制）ことを知っていますか。

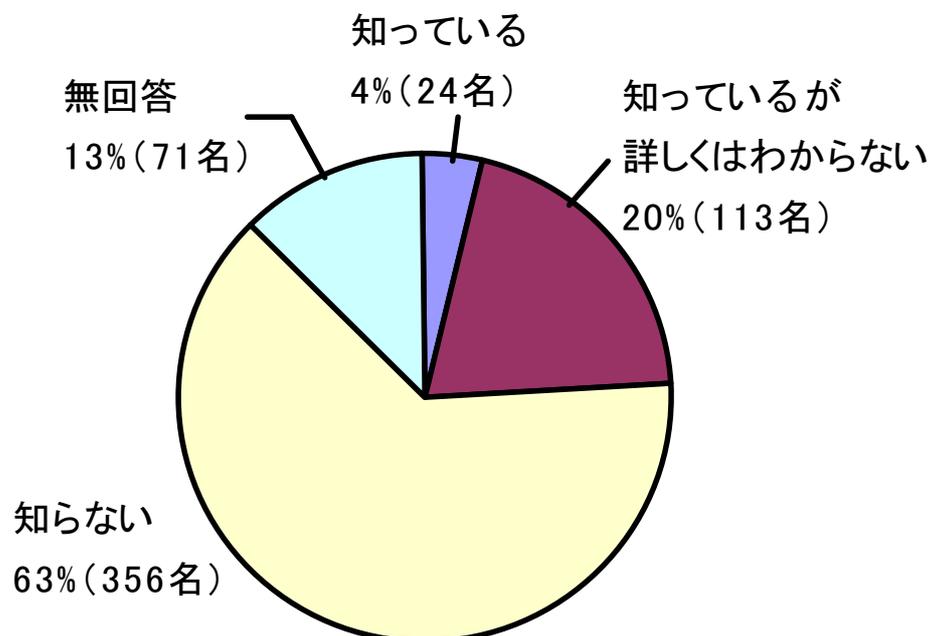


（無回答 3 名を除く）

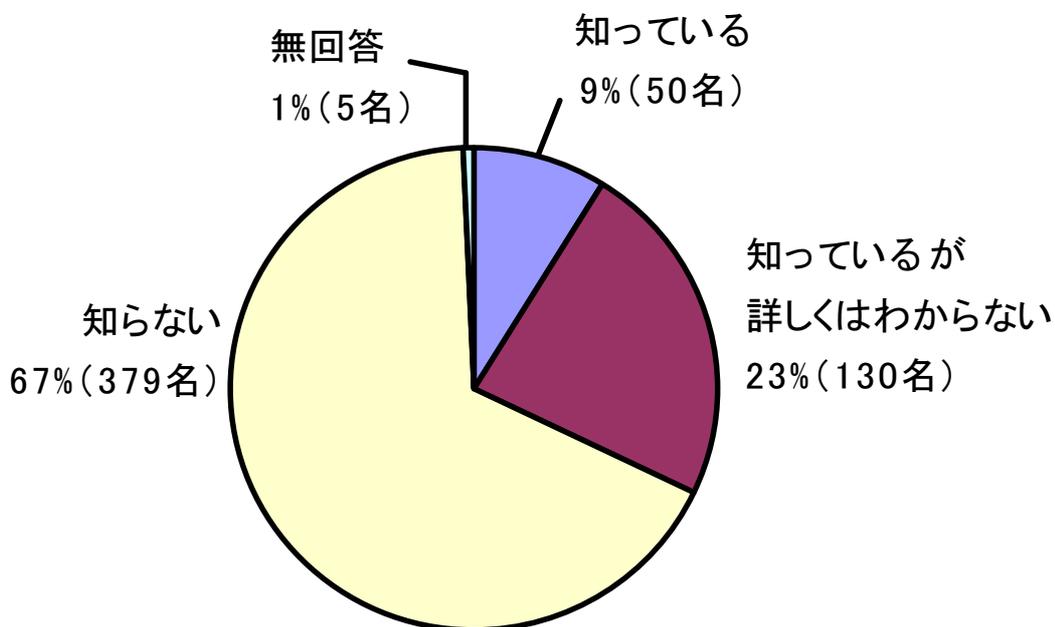
問5 日本では、飼料規制などの対策が徹底された後に生まれた牛からは、BSE牛は発生していないことを知っていますか。



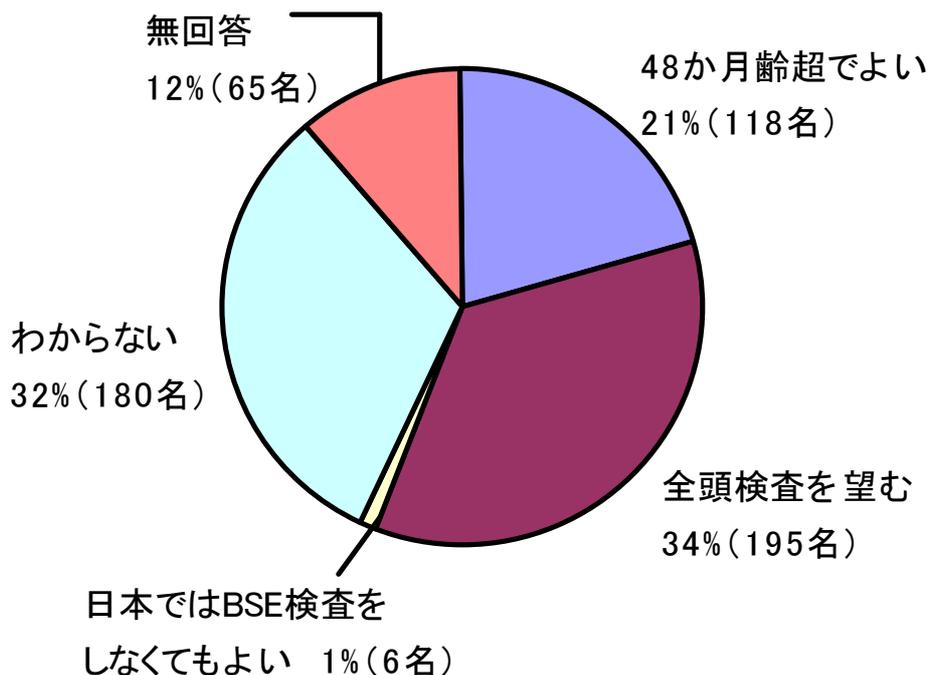
問6 BSE対策を見直すために、行政機関から独立した食品安全委員会が科学的根拠に基づいて客観的かつ中立公正にリスク評価を行っていることを知っていますか。



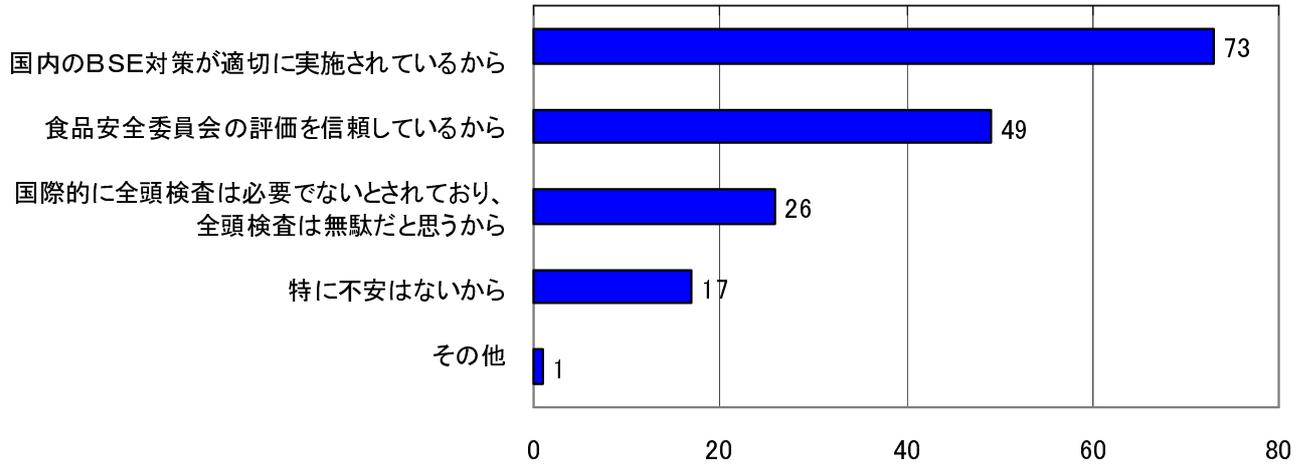
問7 日本は、平成25年5月28日に国際機関（OIE）により、「無視できるBSEリスク」の国と認定されたことを知っていますか。



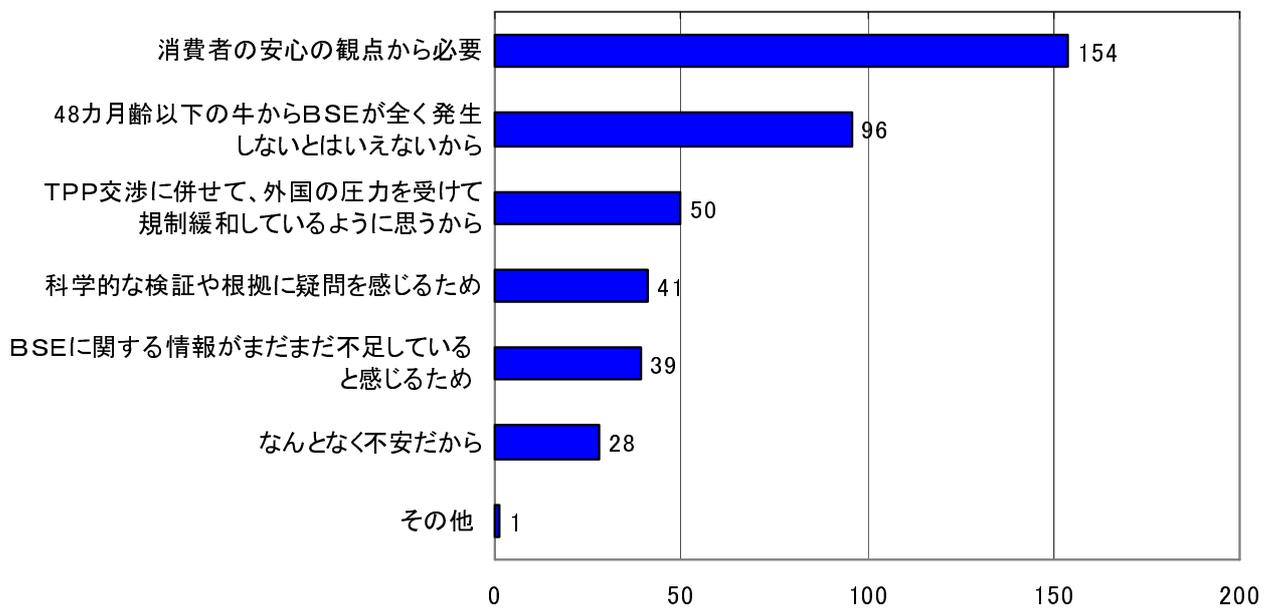
問8 食品安全委員会の評価を受け、平成25年7月1日から食肉にする牛は48か月齢超のみBSE検査が実施されます。このことについてどう思いますか。



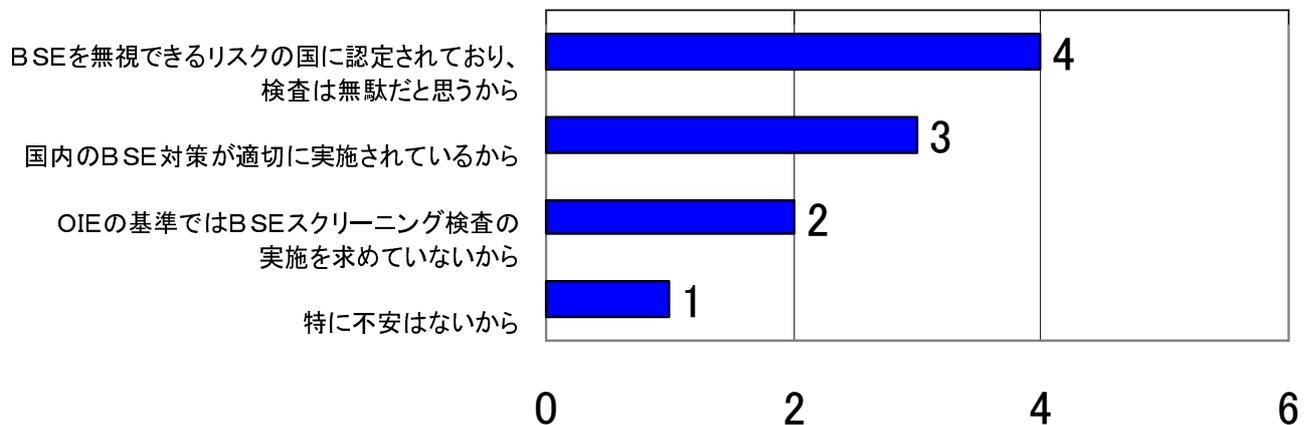
問 8 - 1 「48 か月齢超でよい」と回答した理由（複数回答可）



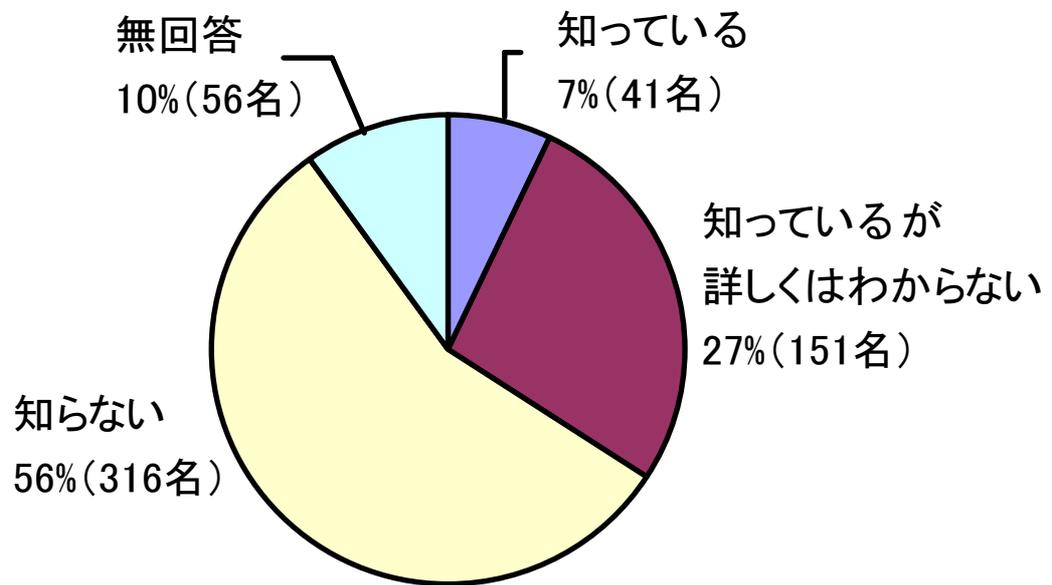
問 8 - 2 「全頭検査を望む」と回答した理由（複数回答可）



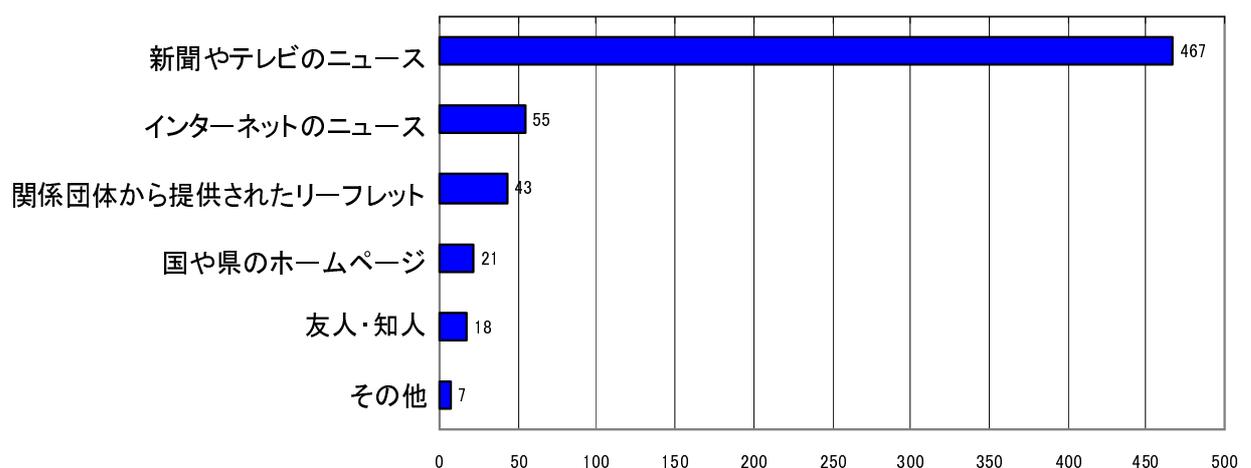
問 8 - 3 「日本では BSE 検査をしなくてもよい」と回答した理由（複数回答可）



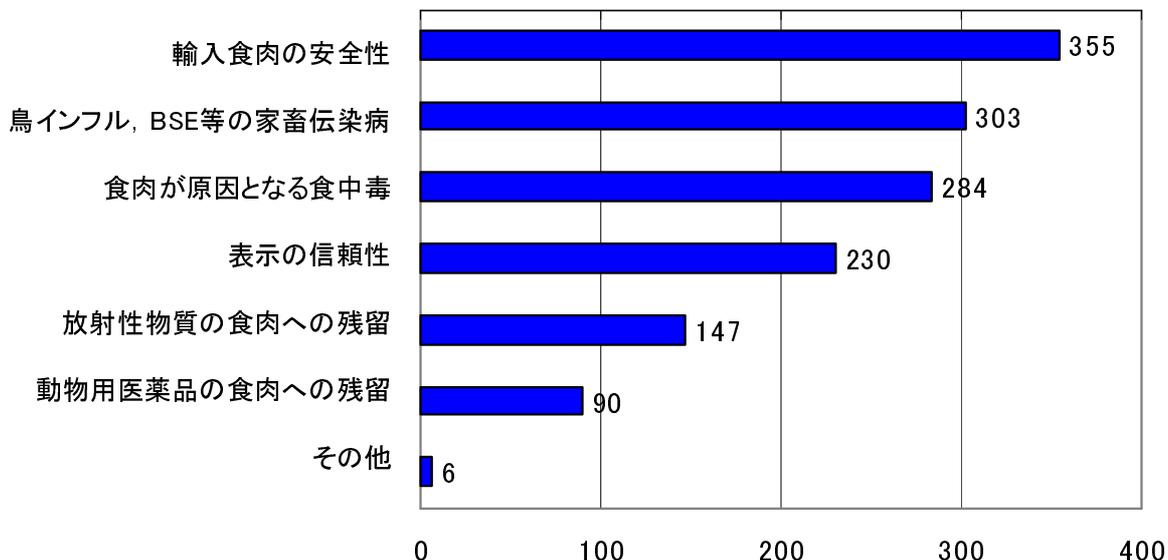
問 9 と畜場では引き続き、全頭の特定期位（SRM）の除去が行われることを知っていますか。



問 10 BSE についての情報をどこから入手していますか（複数回答可）。



問 1 1 食肉に関する内容で、関心がある項目を3つまで選んで下さい。



問 1 2 その他の意見・要望など、主なものは次のとおりです。

- ・ 食中毒になったら大変なので、食中毒にならないように気をつける。
- ・ 一般消費者に対してもわかりにくい。安心出来ない。もっとわかりやすく伝えて欲しい。
- ・ 原産国表示に対しての信頼性が低い。
- ・ TPP によって、どう変わるのか。どうなる可能性が高いのか。あらゆるケースを想定した勉強会がほしい。
- ・ 国産肉は事件・事故等のニュースが早く伝わるが、輸入肉はニュースになるのが遅く、少し不安が残る。
- ・ B S E が問題になってしばらくは牛肉が食べられなかった。
- ・ 人間が食べる食糧だから安全第一です。
- ・ 薬品, 放射性物質の残留について, 飼料など徹底した検査を改善してほしい
- ・ イノシシ, シカ等の肉のプリオンについて。